

コロナ禍！ 命を守り、学びを止めない！

ついに5月16日新型コロナウイルス対応のため、緊急事態宣言が広島県にも発令され、緊張の日々が続いています。一日でも早く日常を取り戻すため、幼稚園も再度原点に戻り、感染対策を取りながら、子ども達の命を守り、子ども達の遊びや学びを保障していきたいと思えます。子ども達にも保護者の方にも不自由をかけますが、引き続き本園の教育にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

【本園での感染対策】

- ・健康カードの確認（毎朝検温）
 - ・マスクの着用（外は、熱中症対策のため原則外す）
 - ・手洗い・うがい（紅茶うがい）の奨励
 - ・アルコール消毒の奨励（登園時・外遊び後・給食前）
 - ・3密を避ける（換気、ソーシャルディスタンスを取るための席の配置や並び方・活動の工夫、給食時のアクリル板の使用）
 - ・毎朝ドアノブや蛇口等の消毒
 - ・空気清浄機・オゾン機・サーキュレーターの設定・稼働
- 等



距離を保って手洗い



椅子の配置に気を付けて楽しむ



アクリル板を使って給食

感動体験が感性を育てる！

子ども達は豊かな感動体験を通して、豊かな感性を培っていきます。好奇心をもっていろいろなものや人に関わるようになると、楽しい出来事や素晴らしい出来事に心揺り動かされ、ことばもぐんと増えてきます。

先日の雨上がり日、年長組の子ども達は、はだしになって土と夢中になって遊び、泥の気持ちよさを実感していました。「ぶにぶにする」「気持ちいい」「お父さんのお腹みたい」「プリンみたい」「パンケーキだ」「おいしそう」等 子ども達の言葉は、土のやわらかさを楽しむ言葉であふれていました。また、土ででっかいケーキを作って、さらに泥団子を作ってトッピングを楽しんだり、足を泥で隠して、砂との違いや面白さを実感したりしていました。



年少組の子ども達もはだしになって、砂場で型抜きをしたり、といを使って水や松ぼっくりを流したり、ドッカーン!!と水を爆発させて大喜びしたりしました。日に日に子ども同士がつながり、一緒に楽しく遊ぶ姿が見られるようになってきました。



年長組も年少組も子ども達の様子が、日に日に変わり、大きな声であいさつをしたり、「〇〇ちゃんおはよう」と名前をつけて呼んだりする子達が増えてきました。また、生き生きと友達と楽しそうに会話をしながら、遊んだりする姿が見られるようになってきました。

幼稚園では、子ども達が自分から積極的にものや人に関わり、遊びを楽しめるように一人一人の子どもの育ちをじっくりと温かく見守り、強制をするのではなく、環境を工夫したり、援助を考えたりしています。一緒にお家の方と子どもの育ちを共有し、成長を喜び、応援したいと思います。一緒に子どもの力を伸ばしていきましょう。



だんごむし、
かわいい♡

やったね！
こんな大きな
玉ねぎが
とれたよ！



はあとちゃん、しろちゃん、
おいしいよ！
食べて。